

新型コロナウイルス感染症対策 について

新型コロナウイルス感染症に対応した医療体制

1 「帰国者・接触者外来」の設置

・2月7日 二次医療圏ごとに1か所以上、県内6か所に設置

県医師会、郡・市医師会を通じて周知（設置医療機関は一般には非公表）

医療圏	設置数
福井・坂井	2医療機関
奥越	1医療機関
丹南	1医療機関
嶺南	2医療機関
計	6医療機関

・3月23日 県内患者発生に伴い、2か所増設し、合計で8か所に設置

県医師会、郡・市医師会を通じて再周知

医療圏	医療機関
福井・坂井	1医療機関
嶺南	1医療機関
計	2医療機関

新型コロナウイルス感染症に対応した医療体制

2 「帰国者・接触者相談センター」の設置

- ・電話での相談を通じ、疑い例を「帰国者・接触者外来」へ受診させるよう調整を行うため保健所に設置

設置場所	県内7か所(福井市保健所、各健康福祉センター)
対応時間	8:30~21:00 (夜間は、緊急携帯番号を案内することにより24時間対応)

・相談・受診の目安の周知

1. 発熱等の風邪症状が見られるときには会社などを休みましょう。
2. 日ごろから、手洗い、咳エチケット、外出時のマスク着用をしっかりと行いましょう。
3. 発熱等の風邪症状がある時は、毎日、体温を測定し記録するようにしてください。
4. 感染しているか不安な場合は、以下のことを相談の目安にしてください。
 - 風邪症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く方
 - 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある方
 - 高齢者・糖尿病等の持病がある方・妊婦の方で、2日程度発熱等の状態が続く方
5. そのうえで感染が疑われる場合には、まず、お近くの県内電話相談窓口に必ずご相談ください。相談窓口で医療機関を紹介された際は、マスクを着用の上来院してください。
6. 4の症状に当てはまらない場合でも発熱や呼吸器症状があり、かかりつけ医を受診する際は、事前にかかりつけ医に電話でご相談ください。

新型コロナウイルス感染症に対応した医療体制

3 PCR検査の実施

PCR検査実施状況【3/23現在】

週	検査件数	陰性	陽性
8週(令和2年2月17日～23日)	15件	15件	0件
9週(令和2年2月23日～3月1日)	24件	24件	0件
10週(令和2年3月2日～8日)	18件	18件	0件
11週(令和2年3月9日～15日)	22件	22件	0件
12週(令和2年3月16日～22日)	23件	22件	1件
13週(令和2年3月23日～)	5件	5件	0件
合計	107件	106件	1件

検査実施理由

実施理由	件数
医師が総合的に判断した結果、新型コロナを疑う	64件
肺炎が疑われる	42件
確定患者と濃厚接触歴がある	1件
合計	107件

新型コロナウイルス感染症に対応した医療体制

4 入院医療体制

- ・感染症病床に加え、結核病床でも患者受入れを行う

医療圏	医療機関数	感染症病床		結核病床
福井・坂井	3医療機関	8床	+	20床
奥越	1医療機関	4床		—
丹南	1医療機関	4床		—
嶺南	2医療機関	4床		8床
小計		20床		28床
合計		48床		

新型コロナウイルス感染症に対応した医療体制

5 医療体制に係る関係機関との協議の状況

開催日	参加機関	内容
2月7日	感染症指定医療機関、福大附属病院、県医師会	・帰国者・接触者外来の設置 ・まん延期までの医療体制案
2月10日	福井県感染症予防対策委員会委員	・患者発生時の対応の流れ ・まん延期までの医療体制案
2月21日	県医師会対策本部設置	
3月3日	感染症指定医療機関、福大附属病院、県医師会	・医療体制案(結核患者、外来、入院体制)
3月10日	県立病院、福大附属病院、福井赤十字病院、済生会病院、県医師会	・患者の増加に備えた救急医療体制、周産期医療体制
3月18日 (県内患者発生により延期)	県立病院、福大附属病院、福井赤十字病院、済生会病院、福井循環器病院の各院長他、県医師会	・感染症の入院体制 ・ICUの体制 ・小児周産期医療の体制

新型コロナウイルス感染症に対応した医療体制

6 医療用マスクの配布

・3月16日 国から医療用マスク46,900枚の提供あり

3月17～18日にかけて、感染症指定医療機関、重症度の高い患者が入院する病院等25医療機関に対し配布

・3月23日 国から医療用マスク(第2弾)173,000枚の提供あり

在庫不足の状況などに応じ、感染症指定医療機関を含む医療機関等に対し配布予定